

データヘルス計画策定に係る 関係機関との連携について

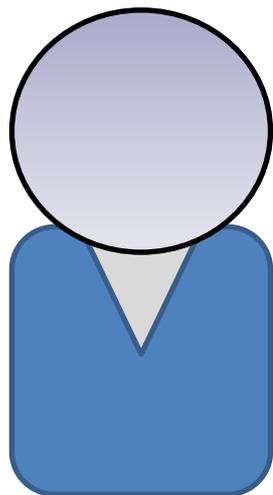
平成26年12月1日

1 データヘルス計画について

1. データヘルスとは

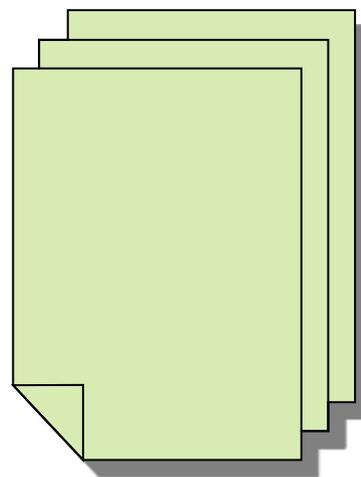
特定健診結果（40歳以上）

平成20年度より統一データ化された



レセプト

平成26年現在92%電子化



協会けんぽの保有するビッグデータ活用！

データ分析に基づく保健事業の実施

2. データヘルスに係る協会けんぽ兵庫支部の取組

■ 発信力の強化

- ・協会けんぽ兵庫県大会の開催
- ・医療費分析実施と結果の発信
- ・事業所訪問の実施

etc

■ 関係団体との連携強化

- ・神戸市との連携協定締結
- ・豊岡市との連携協定締結
- ・神戸大学との連携協定締結
- ・兵庫県や事業所との連携

etc

兵庫支部 の取組

■ 効果的な広報の実施

- ・全事業所への広報誌発行(月1回)
- ・メルマガの配信(月1回)
- ・ホームページの充実

etc

■ 保健事業の推進

- ・IT を活用した健診受診率の向上
- ・IT を活用した重症化予防
- ・各種イベントへの参加
(ラジオ関西祭り、ピンクリボン等)
- ・メンタルヘルスセミナー開催

etc

3. 協会けんぽ兵庫支部データヘルス計画

兵庫支部の特性を理解すべくデータベースの構築、医療費、健診データ等の分析
(これまでの分析に加え) GIS、SPSSの活用、アドバイザーとしての大学研究者との連携

重症化予防

- ・ 神戸市在住重症化予防2次勧奨対象者の糖尿病セミナー

- ・ SPSSを使用したデータベースからCKD重症対象者を抽出し、GISを活用して効果的に接触する。

健診・保健指導

- ・ 自治体とのがん検診、特定健診の共同実施（血管年齢等を特典とした合同健診）

- ・ 特定健診受診者、未受診者の分布をGISで分析し、効果的な場所に健診車を配置し受診率を向上させる。密集地以外には最寄りの健診機関を案内する。

- ・ 国際医療福祉大学等の研究チームと共同でがん検診におけるデータベース構築、その他研究を行い、エビデンスに基づいた受診勧奨を行う。

コラボヘルス

- ・ 兵庫県チャレンジ企業を活用した県との合同事業所訪問
- ・ チャレンジ企業実施事業所、あるKING決定戦参加事業所の医療費、健診データ等経年変化調査分析

- ・ 職員全員による事業所カルテを活用した事業所訪問
- ・ ICTを活用したオーダーメイド健康情報提供サイトの提供

- ・ 神戸大学との連携 業態別の標準報酬や扶養状況等経済学的な観点からの分析を行い、中小企業団体や業種団体に示し、各団体を通じて事業主へ働きかける

- ・ 禁煙プロジェクト

自治体との
連携

GIS

大学との
連携

GIS=(Geographic Information System) 地理情報システム
CKD=(Chronic Kidney Disease) 慢性腎臓病
ICT=(Information and Communication Technology)=情報通信技術

2 関係機関との連携状況

【協定締結日】

(日 時) 平成26年3月25日(火)14時～14時半

(場 所) 市役所1号館16階会見室

(出席者) 協会けんぽ兵庫支部長 笠井 利雄
神戸市保健福祉局長 三木 孝



【連携事項】

- 特定健康診査及び、がん検診の受診促進、特定保健指導の利用拡大に関する事
- 生活習慣病の発症予防及びCKD(慢性腎臓病)対策等の重症化予防に関する事
- 市民の健康状況を把握するための定期的な情報共有と調査、分析に関する事
- 市内の企業(協会けんぽ加入事業所)に対する健康づくり支援に関する事
- 医療費適正化に関する事

【連携キックオフイベント】



協定締結日と同日(平成26年3月25日)に三宮地下街でキックオフイベントを実施。
神戸市のゆるキャラも出動し健康づくりをPR。

← キックオフイベントの様子

【歩King歩Queen決定戦】

チーム対抗で、2ヶ月間の歩数を競い合う、歩King歩Queen決定戦を神戸市と共催。

キックオフイベントでの歩き方実演会 →



【ピンクリボン】



乳がんに関する啓発のためのピンクリボンキャンペーンに参加。

←スマイルウォーキングの受付(26.10.18)

【協定締結日】

日時：平成26年10月15日(水)

場所：神戸大学
六甲台本館2階貴賓室



笠井支部長(左)と吉井経済学部長(右)

【協定の目的】

レセプトデータと健診データを用いた、「就労と疾病との因果関係」、「兵庫県下の地域ごとの疾病と医療費との関係」など、多様な視点から共同研究を展開する。

【連携項目】

- 加入者の健康保持増進のための調査・分析に関すること
- 加入者の医療費の適正化のための調査・分析に関すること
- データヘルス計画に関連する各種事業への意見提案
- レセプトデータ・健診データ等の分析、加入者の業種、所得、扶養家族の状況などを含めた経済学的分析

営業内容

- ① 健康経営についての大まかな説明
- ② 事業所カルテにより事業所社員の健康状態を説明
- ③ 保健指導について説明
- ④ 生活習慣病予防健診、特定健診の推奨
- ⑤ 事業者健診のみの場合はデータ取得要請
- ⑥ 健康保険委員のメリットを説明の上委嘱要請
- ⑦ アンケート
- ⑧ 兵庫県のチャレンジ企業パンフレットによる紹介

会社経営にとって、従業員の健康がいかに重要か知っていただく。

保健指導や、健診に繋げる

協会けんぽと事業所の架け橋となる健康保健委員やその他広報の有効性を分かって頂く

協会の事業への理解や知名度アップに繋げる

加入者・事業主との距離を縮める

健康づくりチャレンジ企業

企業との協働による健康づくり促進事業実施要領

(目的)

第1条 積極的に従業員及び家族の受診促進などの健康づくりに取り組もうとする企業を「健康づくりチャレンジ企業」(以下、「チャレンジ企業」という。)として登録し、健康情報の提供、専門人材の派遣や健康教室を実施した場合の助成等の支援を行うことにより、企業との協働による働き盛り世代の健康づくりを促進する。

(チャレンジ企業の役割)

第2条 チャレンジ企業は、従業員及び家族の特定健診及びがん検診等の受診率向上に積極的に取り組むとともに、健診後の適切なフォローアップや食生活の改善のための健康づくりに努めるものとする。

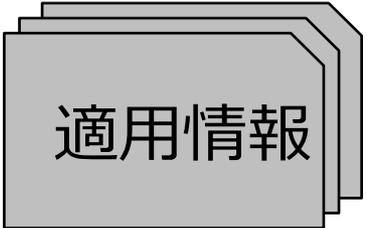
(チャレンジ企業の登録)

第3条 県は、本事業の趣旨に賛同し、従業員及び家族の特定健診、がん検診等の受診率

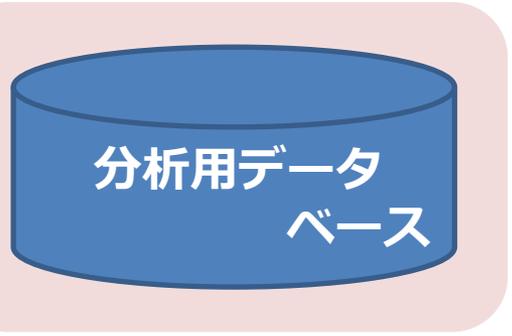
3 医療費分析等について

SPSS を使用した分析

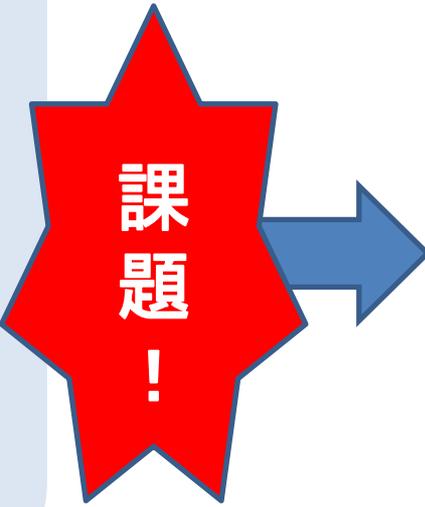
協会けんぽ医療情報



SPSS (Statistical Package for Social Science) は、汎用機の時代から社会調査データを分析するためにもっともよく利用されてきたソフトウェア



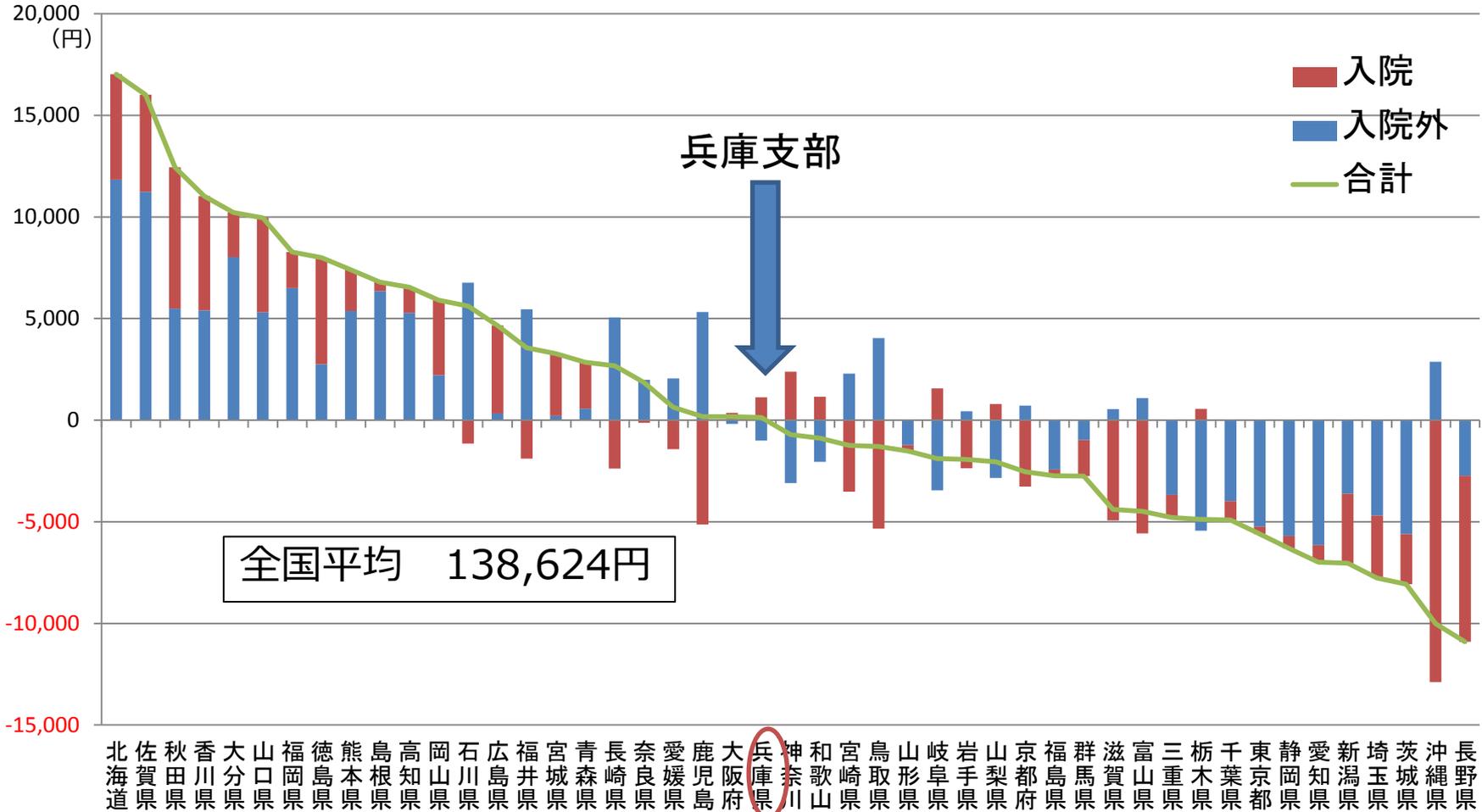
- 健診受診者リストやレセプトデータは一人一行になっておらず、集計等には加工が必要。
- 膨大なデータの加工にはSPSSの知識やAccessの習熟が必要。時間とスキルが必要。
- ノウハウの継承等も課題が多い



大学等の指導を受け
共同研究を行う

全国一人当たり医療費（全国平均との差）

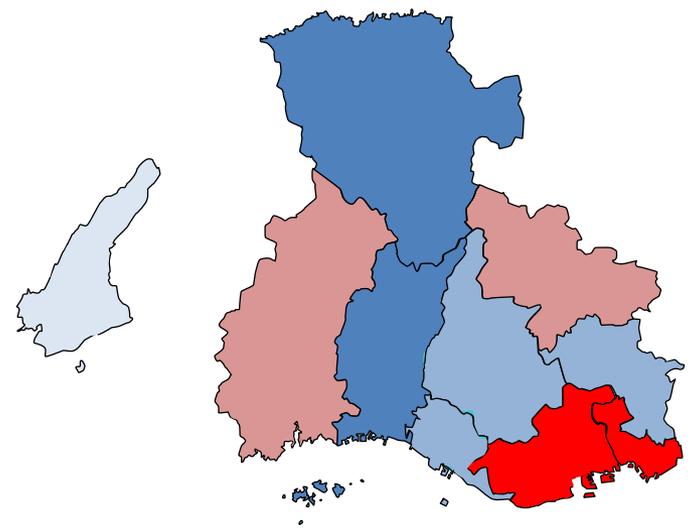
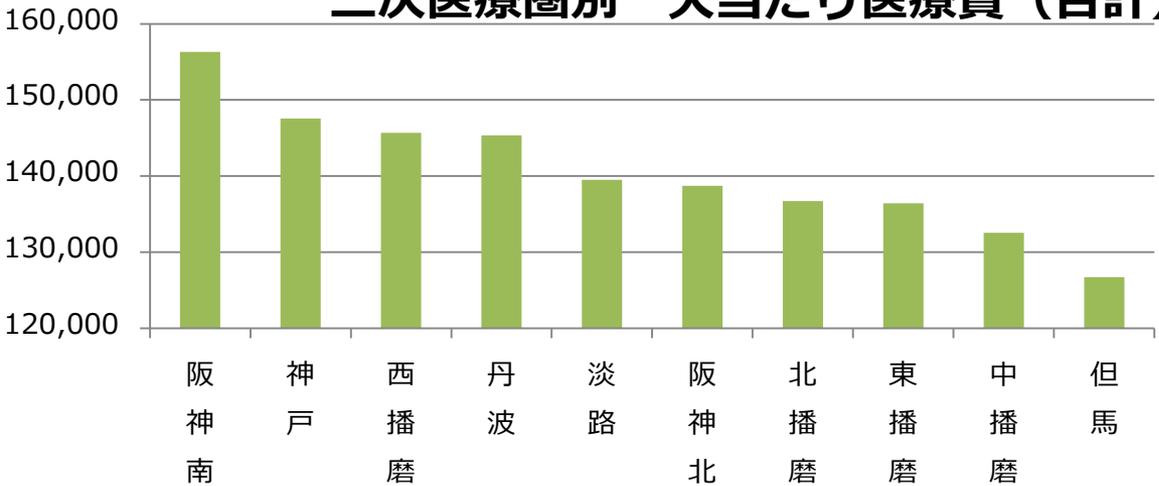
事業所単位



注1. 医療費は、社会保険診療報酬支払基金審査分（入院、入院外、歯科、調剤、入院時食事療養費・生活療養費、訪問看護療養費）、療養費（柔道整復療養費等）、移送費に係るもの。

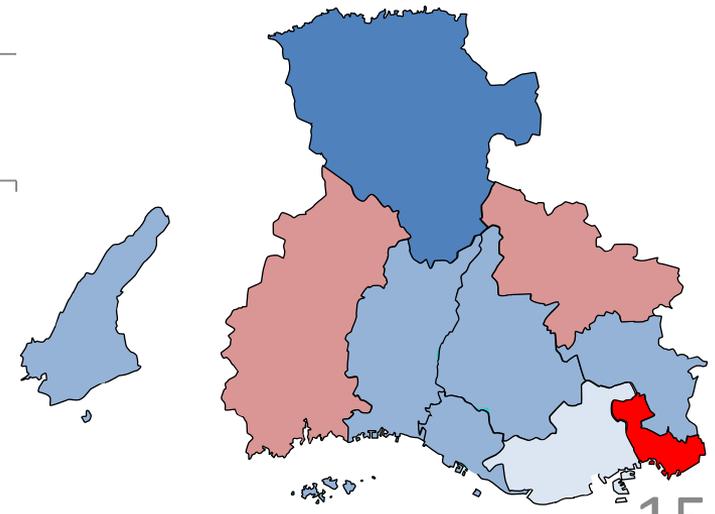
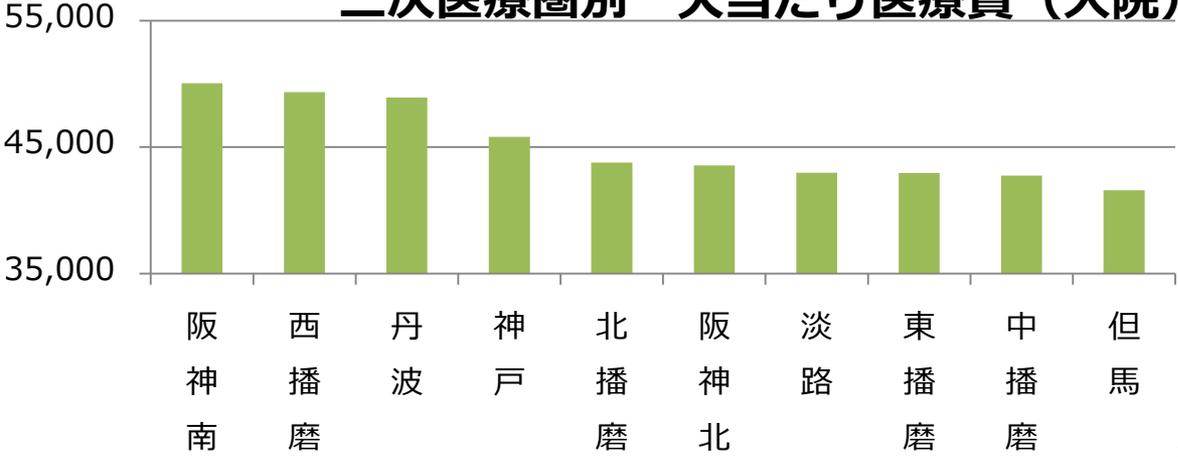
注2. 加入者1人当たり医療費は、年齢調整前の額である。

(円) **二次医療圏別一人当たり医療費（合計）**



二次医療圏	阪神南	神戸	西播磨	丹波	淡路
一人当たり医療費	156,314	147,569	145,678	145,346	139,497
二次医療圏	阪神北	北播磨	東播磨	中播磨	但馬
一人当たり医療費	138,714	136,700	136,443	132,539	126,686

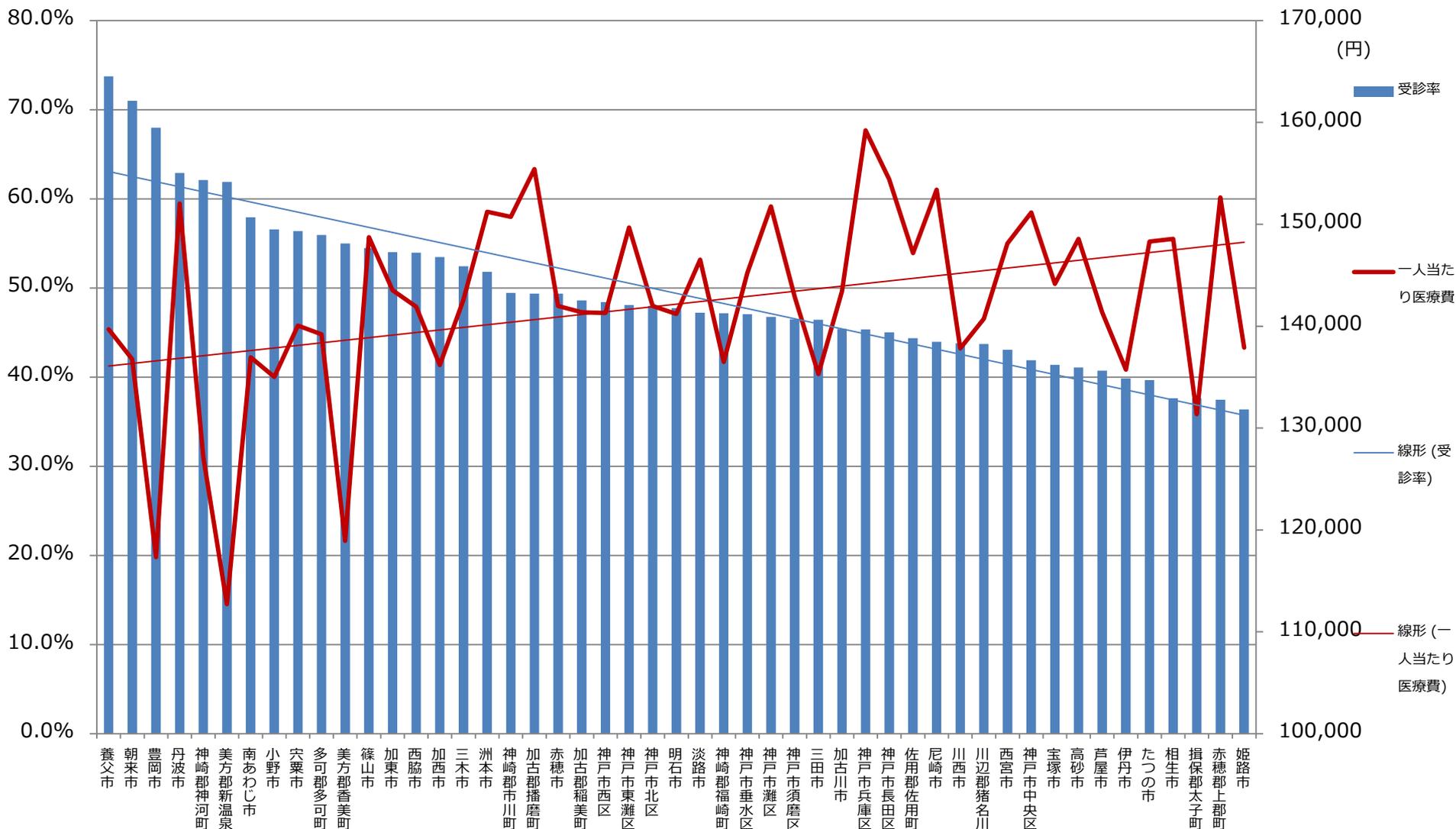
(円) **二次医療圏別一人当たり医療費（入院）**



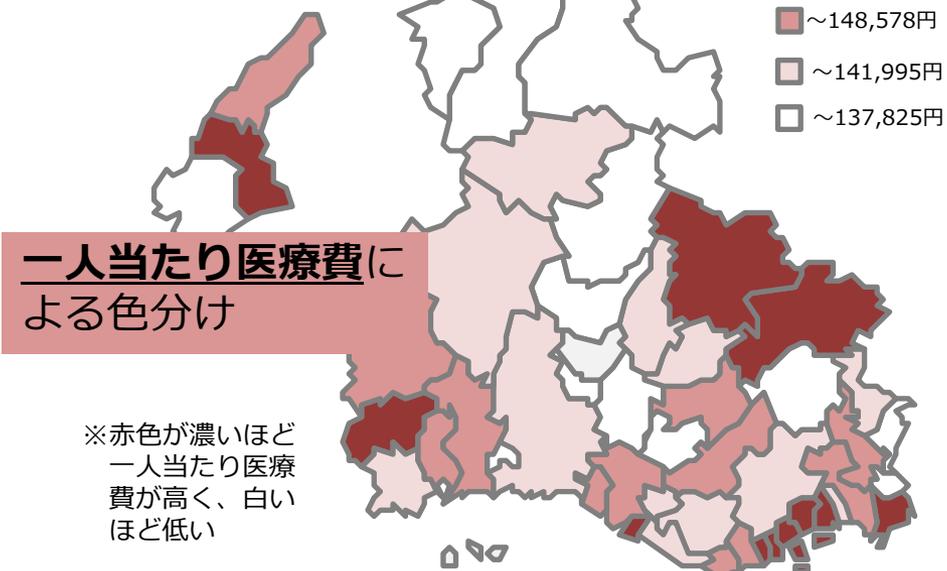
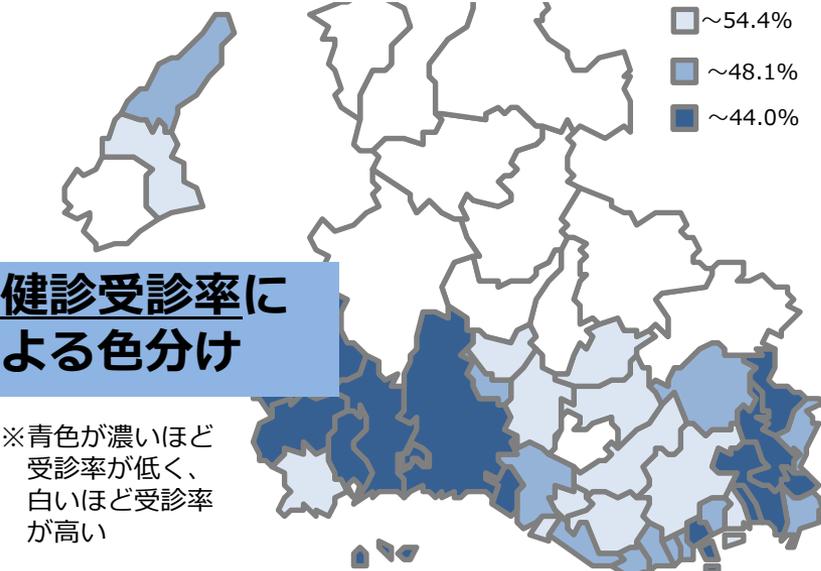
二次医療圏	阪神南	西播磨	丹波	神戸	北播磨
一人当たり医療費	50,064	49,363	48,926	45,820	43,786
二次医療圏	阪神北	淡路	東播磨	中播磨	但馬
一人当たり医療費	43,556	42,966	42,939	42,738	41,593

市区町別受診率と一人当たり医療費(加入者ベース医療費) (健診受診率との関係)

年齢調整後



健診受診率と医療費の関係比較

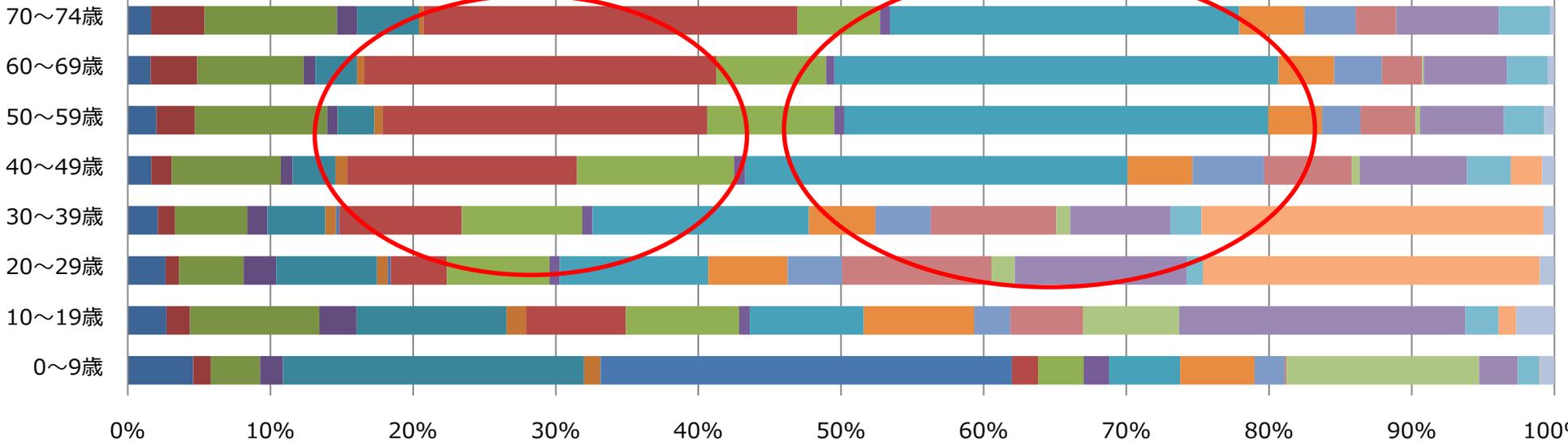


市区町村	養父市	朝来市	豊岡市	丹波市	神崎郡神河町	美方郡新温泉	南あわじ市	小野市	宍粟市	多可郡多可町	美方郡香美町	篠山市	加東市
一人当たり医療費	139,714	136,768	117,319	152,055	127,171	112,720	136,946	135,025	140,054	139,210	118,918	148,737	143,522
健診受診率	73.40%	71.10%	68.00%	63.40%	62.00%	61.80%	58.20%	57.00%	56.30%	56.00%	54.90%	54.50%	54.40%
市区町村	西脇市	加西市	三木市	洲本市	加古郡播磨町	赤穂市	神崎郡市川町	神戸市西区	加古郡稲美町	神戸市東灘区	神戸市北区	明石市	神崎郡福崎町
一人当たり医療費	141,927	136,195	142,588	151,243	150,736	155,426	141,994	141,377	141,301	149,690	141,995	141,196	146,537
健診受診率	54.20%	53.70%	53.10%	52.20%	50.00%	49.50%	49.40%	48.90%	48.80%	48.60%	48.50%	48.10%	47.60%
市区町村	神戸市垂水区	淡路市	神戸市灘区	神戸市須磨区	三田市	神戸市兵庫区	神戸市長田区	加古川市	尼崎市	川西市	佐用郡佐用町	川辺郡猪名川	西宮市
一人当たり医療費	136,503	145,218	151,757	142,868	135,306	143,436	159,222	154,419	147,161	153,404	137,825	140,724	148,120
健診受診率	47.50%	47.40%	47.30%	47.00%	46.70%	45.80%	45.70%	45.70%	44.30%	44.20%	44.00%	43.90%	43.40%
市区町村	神戸市中央区	宝塚市	高砂市	芦屋市	伊丹市	たつの市	相生市	揖保郡太子町	赤穂郡上郡町	姫路市			兵庫県
一人当たり医療費	151,163	144,140	148,578	141,383	135,728	148,311	148,573	131,363	152,634	137,904			143,061
健診受診率	42.50%	41.80%	41.40%	41.30%	40.10%	39.90%	38.10%	37.90%	37.80%	36.60%			46.50%

健診受診率をしてみると、県内北部の受診率が高く南部の受診率が低い。特に南西部、南東部の受診率が低く、ワースト5の姫路市、赤穂郡上郡町、揖保郡太子町、相生市、たつの市は全て隣接している。医療費についても県内北部市町の医療費が低く、南部が高めである。こちらも特に南西部、南東部の医療費が高い。10ページのグラフでは健診受診率（青色棒グラフ）を高い順で右肩下がり並べているが、それとは反対に医療費（赤色折れ線グラフ）は右肩上がりの傾向があり、健診受診率が高い地域では医療費が低い傾向にあると言える。ただし、厳密的な裏付けがあるわけではなく、傾向と捉えるべきで、更なる検証が必要である。

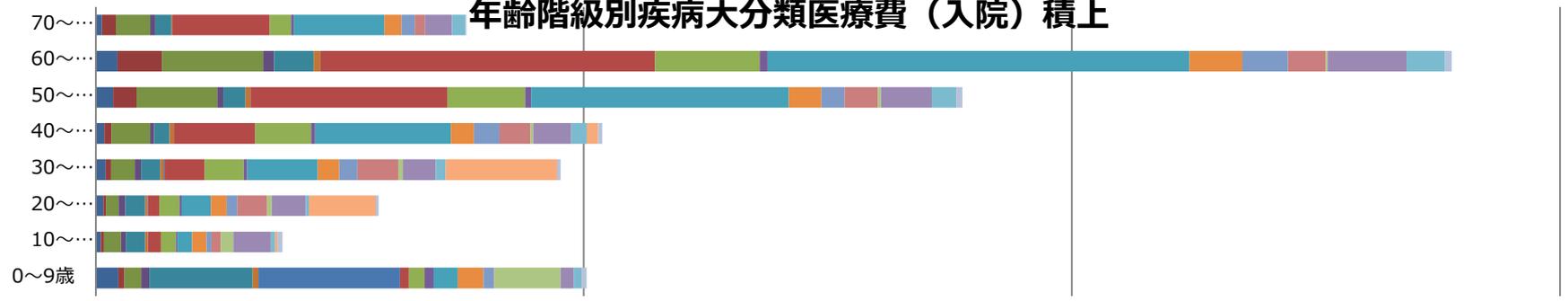
※被保険者ベース医療費とは兵庫県内居住の兵庫支部被保険者の医療費である。

年齢階級別疾病大分類割合（入院）100%積上



- 感染症及び寄生虫症
- 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 周産期に発生した病態
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
- 腎尿路生殖器系の疾患
- 損傷、中毒及びその他の外因の影響
- 眼及び付属器の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 循環器系の疾患
- 精神及び行動の障害
- 内分泌、栄養及び代謝疾患
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 耳及び乳様突起の疾患
- 消化器系の疾患
- 神経系の疾患
- 先天奇形、変形及び染色体異常
- 妊娠、分娩及び産じょく

年齢階級別疾病大分類医療費（入院）積上



- 感染症及び寄生虫症
- 筋骨格系及び結合組織の疾患
- 呼吸器系の疾患
- 周産期に発生した病態
- 消化器系の疾患
- 眼及び付属器の疾患
- 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害
- 耳及び乳様突起の疾患
- 循環器系の疾患
- 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

GIS※を活用したデータヘルスについて

※地理情報システム（Geographic Information System）の略

GISを活用したデータヘルスについて

GISとは・・・ 地理情報システム（Geographic Information System)の略で、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。
(国土地理院HPより)



加入者や医療機関等のデータ（医療費、健診データ等）を、電子地図上に反映させ、詳細な分析ができる。

概要

- データヘルスに基づく医療や健診に関する分析を行うにあたって、「見える化」というのが一番の重要なキーワードであり、兵庫支部として一歩進んだ先進的な調査分析を行い保健事業に繋げたい。
- GISはその「見える化」を推進する技術であり、保健事業の具体的な施策や医療機関、もしくは医療計画を策定する関係団体に医療の質の向上へ向けた具体的提言ができる根拠を作り出すことができる。
- 各支部で26年度に策定する事が既に指示されている「データヘルス計画」の核となりうる事業であり、協会けんぽ全体のリーディングエッジとなりうる。

小学校区別エリアデータ



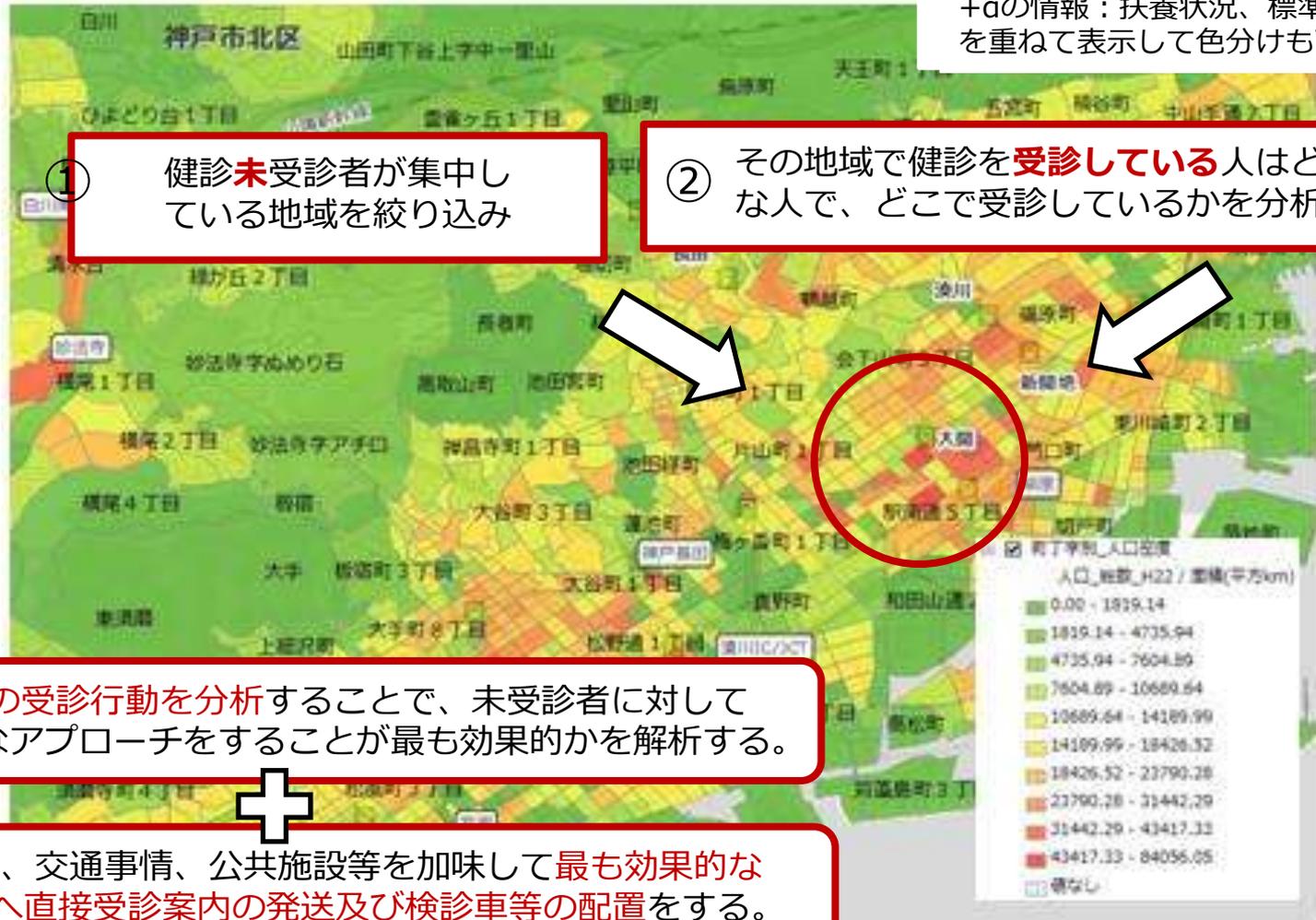
病院と徒歩圏（500m圏）の表示例



GISを活用した特定健診受診率向上事業

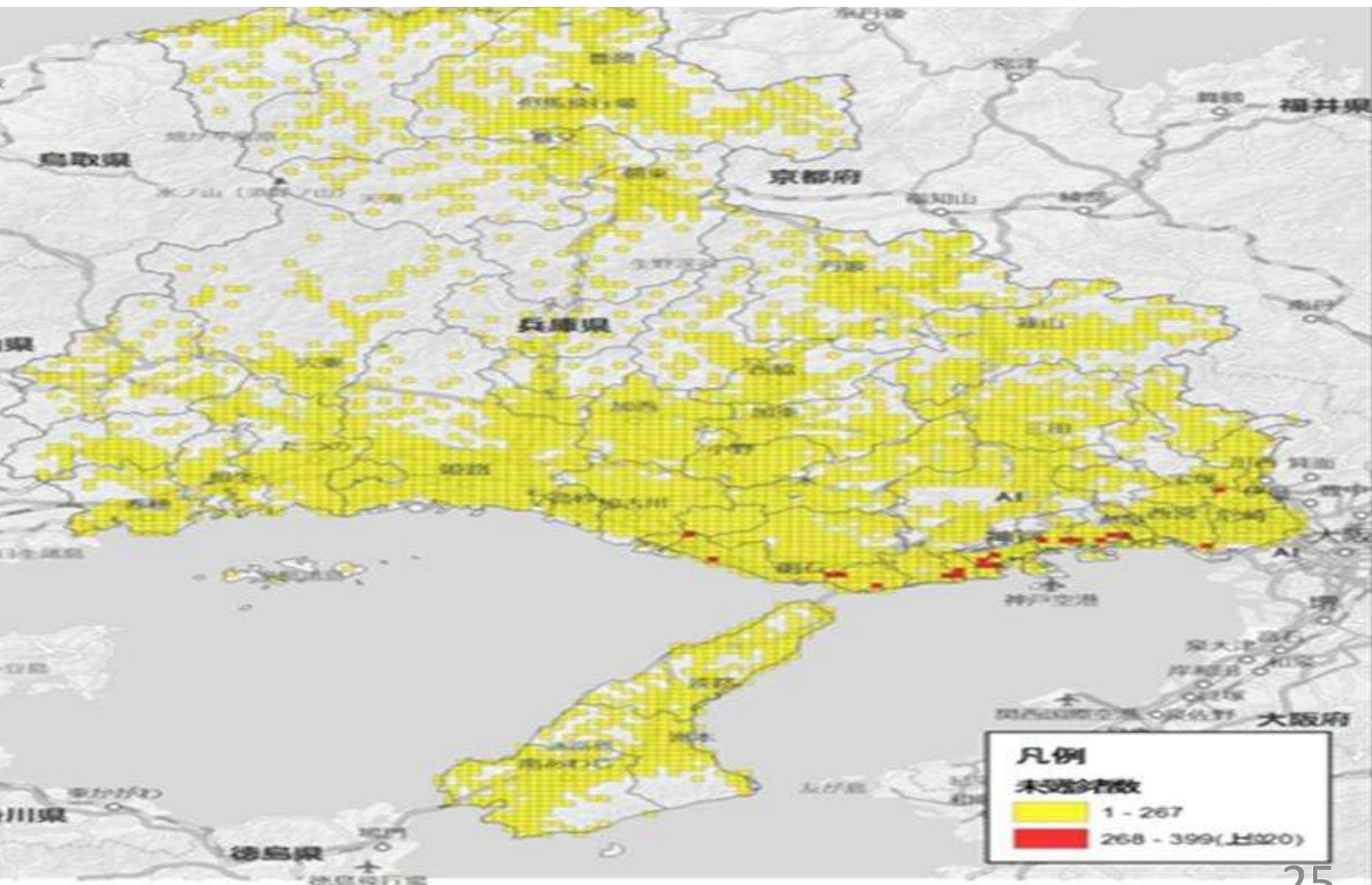
【健診未受診者の分布 +a】

+aの情報：扶養状況、標準報酬等を重ねて表示して色分けも可能



G I Sを活用した健診未受診者の把握

(1 kmメッシュ 健診未受診者数268名以上)



/E